

12月8日

# 感動のなかよし発表会



2・3年音楽  
「みんなで楽しく音楽隊」



1年劇「けんかした山」



5年劇「大造いさんとがん」



4年劇「きつねのごんた」

十二月八日は、この冬一番の寒波で、本当に寒い日でしたが、なかよし発表会を最後までご覧下さりありがとうございます。これまで一生懸命練習してきた子どもたちは、多くの方に見ていただき、たくさんの方の拍手をもらったことで、大きな自信になったことと思います。

くすのき

北杵築小  
12.14  
NO.9  
発行：  
白井恵美子



全校  
詩歌  
「北杵築小の花さき山」  
「おそすぎないうちに」

うちの方の発表  
「泣いた赤おに」



6年劇「志をつらぬい」

杵築の偉人「麻田剛立」伝

## 子どもの姿

発表会の三日前に、四、五、六年生で、劇の見合いをしました。それぞれの学年の劇を見て、感想やアドバイスを言いました。六年生の劇を見た四、五年生が、「すっげー。」と言いました。そして、四年生の劇を見た五年生が、「やっべー。」と言いました。この後、自分たちが見て、気づき、感じたことが、次の練習の意欲へと変わっていききました。

人から言われる百の言葉より、自分たちの一つの気づきが功を奏し、五年生の劇は、ぐんとよくなりました。



なかよし発表会は伝統ある北杵築小の行事で、「人権について学習し、考え、発表に生かす」ことを目的に行われていきます。合唱や合奏で心をひとつにして演奏すること、みんなで劇を作り上げていくことで学級がまとまってきました。

あたたかい言葉かけや頑張っている姿を「花さき山」の花として掲示したり、全校詩を作り上げたりすることで、全校児童がまわりの友だちのことをみつめるようになりました。

まわりの人を大切にすること、そして、自分自身も大切にすることを学んできた発表会だったと思います。

保護者の方の発表もすばらしかったです。子どもたちに、「一番近くにいるよ。そして、みんなの幸せを心から願っているよ。そして、一人ひとりが、つらい思いをしている人の青おにさんになって下さい。」というメッセージが伝わったと思います。

